

客員教授講演会

2015年6月18日(木) 13:00-14:30

第三学舎 D302 教室(「放送論」内で実施)

「テレビジャーナリズムの死」

講師 田島 俊氏 (J:COM 顧問)

20世紀後半のテレビの黄金期を経て、今やインターネットの普及により、放送と通信は融合しつつあり、新たなメディア環境の時代に入っている。その中で基幹メディアとして報道・ジャーナリズムの責任を、中心的に果たしてきたテレビは、今や、ジャーナリズムの機能すら疑問がもたれる事態に直面している。今放送業界に何が起こり、どこに向かおうとしているのか、放送記者として活躍してきた立場から、テレビジャーナリズムの危機的状況を問題提起し、再生の展望を語っていただく。



田島 俊氏 略歴

岐阜県出身 京都大学文学部卒業

1968年 毎日放送入社

記者として17年、編成、スポーツ、総務広報各部長

1997年 メディア局長

2000年 役員待遇メディア総括として、総務省の委員等各種委員を兼任、地デジマフィアと称されながら「地上波デジタル化」に尽力

現職 J:COM 顧問としてケーブル業界の将来のために活躍中